

今後の名古屋市の施策や事業に対して、お寄せいただいたご意見のうち、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載します。文章は原文を基本としていますが、固有名詞が含まれている場合や、長文の場合などは、一部省略しています。

## ～10歳代～

ご意見	性別	居住区
守山区と名東区（藤ヶ丘など東山線）に行く手段が少なすぎ。バスのルートを検討してほしい。	女性	守山区
基幹バスを長年使わせていただいているのですが、まれに対応の良くない職員の方がいて少し残念に思っております。観光客からの名古屋の評判をそこなわない為にもその辺の対応お願いしたいと思っております。	女性	千種区
堀川の水質を良くするとか、名古屋城を直す前にもっとやることあるのではないのでしょうか。税金をこれから社会を作っていくような人間のためにも使うべき。今のままでは税金を上手く使ってもらえてとは思えません。	女性	中区
若い私のような人（昔のことを知らない人）でもわかるような名古屋が行っている取り組みがわかるようにしていただきたいと思えます。	女性	中川区
アンケートという形で市政に携わることができるという貴重な体験をさせていただきありがとうございました。 市民の意見が反映されることを祈っています。	男性	瑞穂区

## ～20歳代～

ご意見	性別	居住区
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉でわかりやすく市政・行政について知りたい。</li> <li>・難しいと政治について思い、興味がなくなってしまう。</li> <li>・名古屋城の木造化はやめてほしい。そのお金を他の大事な児童福祉や高齢者福祉、学校教育（クーラーの取り付け）へまわすべきだと思う。</li> </ul>	女性	南区
もっとショッピングスポットとか楽しめる場所を増やしてほしい。	女性	西区
施設や事業に関する広報などがもっとあるとよい。	女性	緑区
教育に力を入れていただきたいです。また、名古屋市の職員の数や教員の数も考えていただきたいです。数が足りないと思います。	女性	中川区
知り合いにもシングルマザーが多く、もっと子供を育てやすくして母親が安心して生活できるように、分かりやすい相談窓口や民間の保育所を増やして欲しい。	女性	緑区
よく名城線、名港線を利用するのですが、桜通線、東山線のような落下防止柵が早くできるといいなと思ってます。また、LINEやTwitterなどのSNSでもっと情報を発信して欲しいと思えます。	女性	港区
ゴミの分別が細かすぎる。	女性	中村区

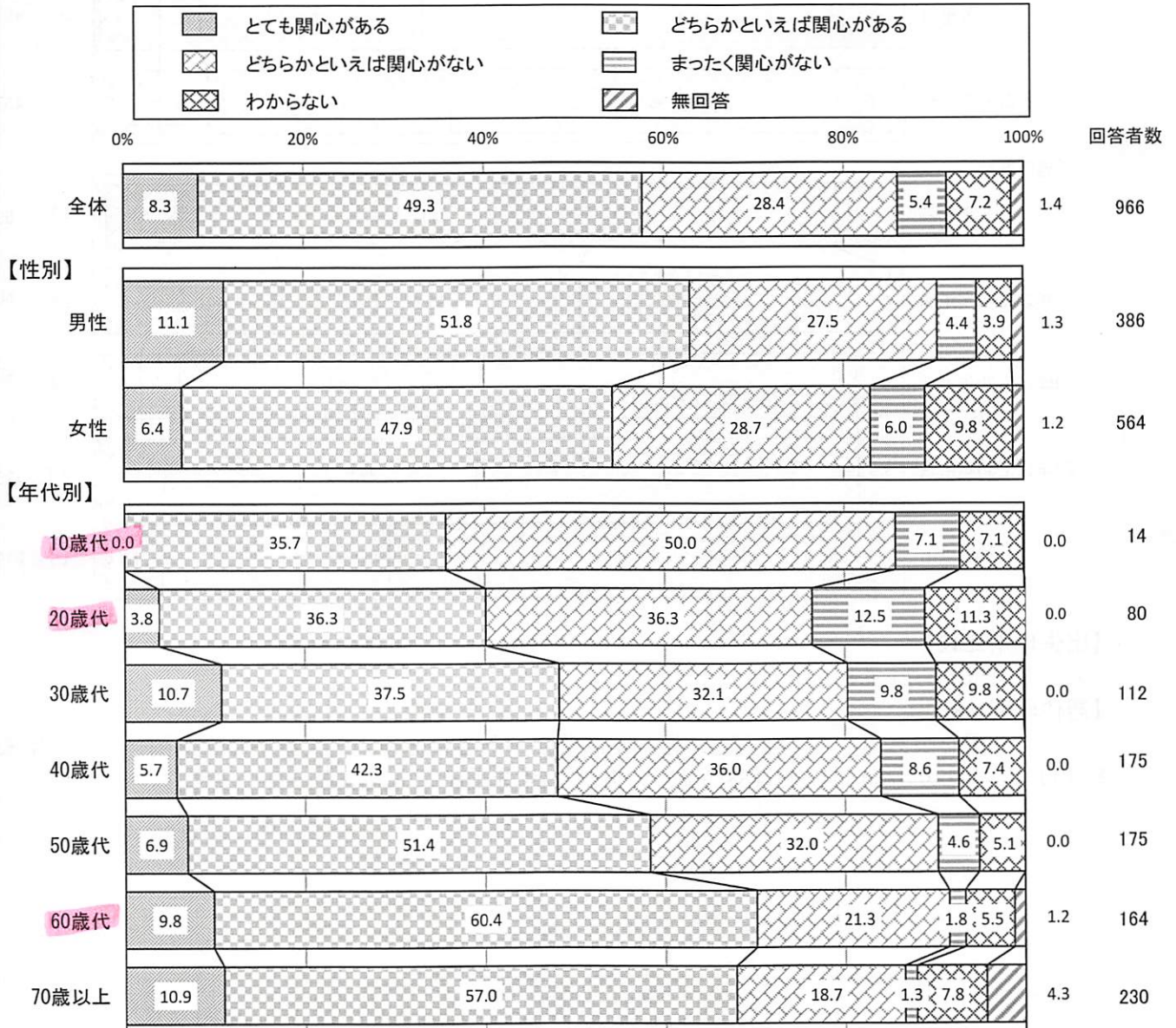
ご意見	性別	居住区
自分の周囲にも市政に興味がないわけではないが、うまく関われない、情報を得ることができない人がいます。しかし私を含め、彼らも比較的に名古屋のことは好きなのでもう少し市政と一市民との距離が近くなることができればよりよい名古屋ができていくのではと思います。特に若い市民がもっと市政に興味を持てたら素晴らしいと思います。	男性	港区
名古屋は外部への情報発信が上手くない。魅力ある街ではあると思うので、もったいない。	女性	千種区
住民税をもう少し安くしてほしい	男性	熱田区
子どもや若者への施策。	男性	中村区
区役所職員の対応が悪く、無駄な待ち時間が長くとても困ったことがありました。職員ひとりひとりが意識を高く持ち、協力して（連携して）スムーズな対応を心がけてほしい。また、区役所内の設備について“わからない”と答える方が普通にいるのはおかしいのでは？ これからの保育・授業料の無償化に期待しています。 小学生の通学路での安全確保も力を入れていただきたい。（マナーがとても悪く、大人数で歩道を占拠しています）（点滅している信号を無理に渡る等も	女性	南区
地下鉄の名城線の女性専用車両を、夜の時間帯も作ってほしい。	女性	北区

## ～30歳代～

ご意見	性別	居住区
文化の向上に取り組んでほしい 地方のバスの本数が少ない困る 図書館を整備して欲しい	女性	北区
名古屋城木造は賛成、本丸御殿も賛成。二葉館や揚輝荘など数少ない建築を保存、広告して欲しい（地元名古屋でも知られていない。）伊勢、飛騨高山などの中継して観光誘致すべき。名古屋自体よりも交通の要所として名古屋の利便性を知らせる。郡上、長浜、犬山、金華山など広域の「大名古屋」で売るべき。名古屋めしや名古屋の変な所ばかりの「小名古屋」は馬鹿にされるだけ。	男性	東区
庄内川が決壊しない様に対策をしてほしい。数年前に避難指示が出たため。	男性	守山区
名古屋を盛り上げていきましょう！	男性	昭和区
市バスの時刻表を系統別だけでなく、バス停でまとめたものをインターネット上ですぐ見られるようにして欲しい。時刻表を見ても最適なバスの選択が出来ない。	男性	緑区
公立中学校にも給食を導入して下さい。	女性	緑区
議員数が多すぎる	男性	熱田区

## 2 市政について

### (1) 市政への関心 (問16・SA)



◆ 市政（市の施策や事業など）に関心があるかとたずねたところ、「とても関心がある」と答えた人は8.3%、「どちらかといえば関心がある」と答えた人は49.3%で、あわせると、市政に関心のある人は約6割（57.6%）でした。

一方、「まったく関心がない」と答えた人は5.4%、「どちらかといえば関心がない」と答えた人は28.4%で、あわせると、市政に関心がない人は3割以上（33.8%）でした。

#### 【性別比較】

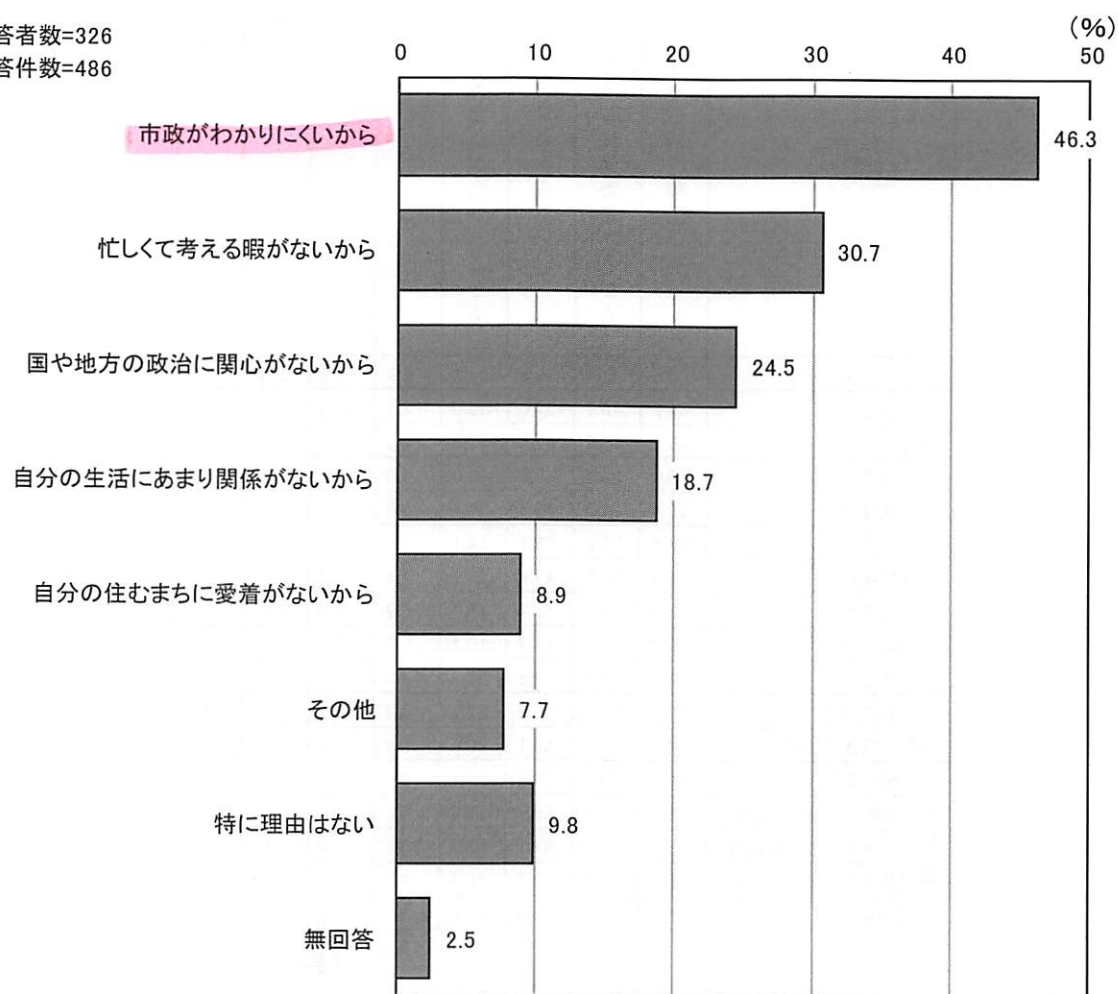
「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は、女性（54.3%）より、男性（62.9%）の方が、8.6ポイント高くなっています。

#### 【年代別比較】

「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」と答えた人をあわせた割合は、10歳代（35.7%）より、60歳代（70.2%）の方が、34.5ポイント高くなっています。

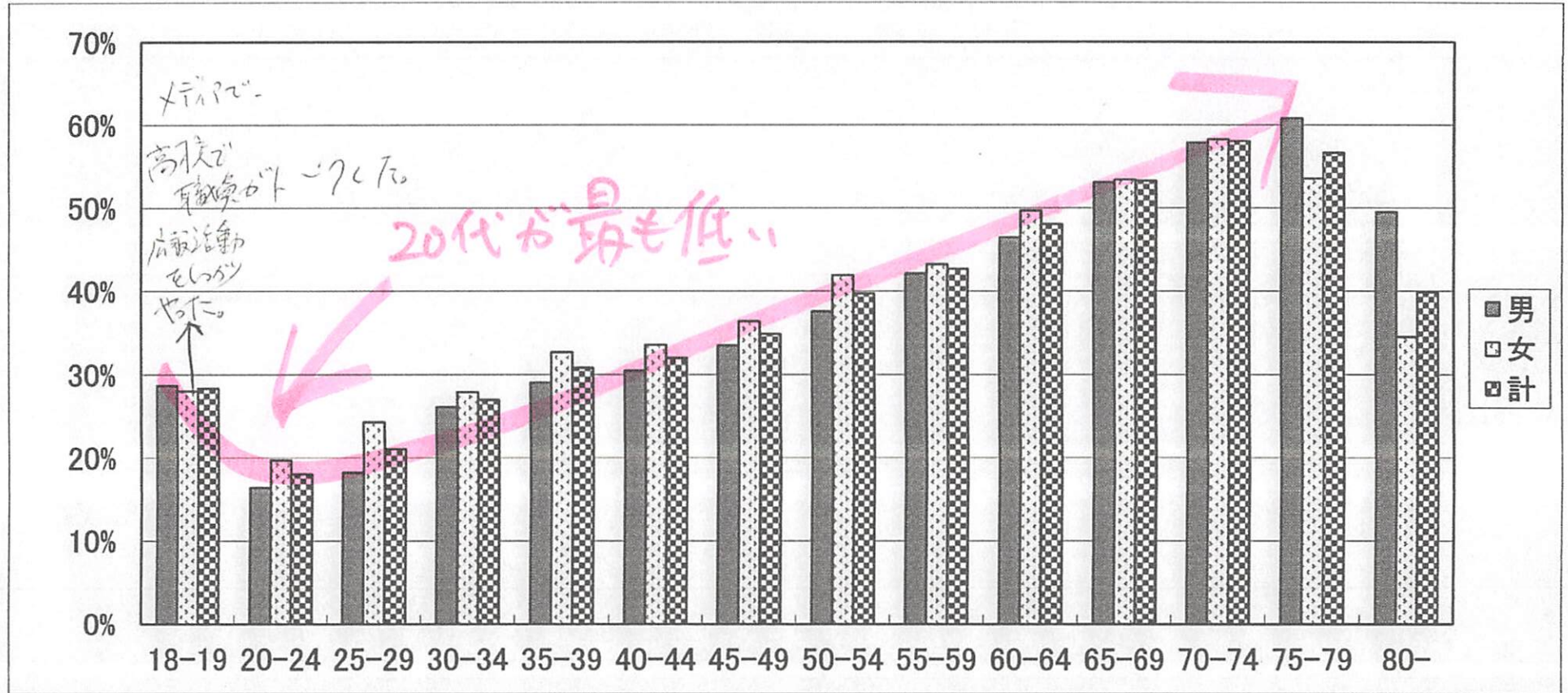
(3) 市政に関心がない理由 (問 18・MA)

回答者数=326  
回答件数=486



- ◆ 市政に関心がないと答えた人に、その理由をたずねたところ、「市政がわかりにくいから」(46.3%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「忙しくて考える暇がないから」(30.7%)、「国や地方の政治に関心がないから」(24.5%)、「自分の生活にあまり関係がないから」(18.7%)と続いています。

平成29年4月23日執行 名古屋市長選挙における男女別年齢階層別推定投票率(抽出)



年齢階層	18-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	市全体
男	28.70%	16.44%	18.22%	26.06%	29.08%	30.51%	33.47%	37.61%	42.19%	46.49%	53.04%	57.85%	60.80%	49.49%	36.35%
女	28.04%	19.70%	24.22%	27.93%	32.69%	33.57%	36.39%	41.99%	43.27%	49.67%	53.36%	58.26%	53.50%	34.54%	37.44%
計	28.36%	18.06%	21.03%	26.96%	30.82%	32.02%	34.88%	39.72%	42.72%	48.07%	53.20%	58.07%	56.67%	39.90%	36.90%

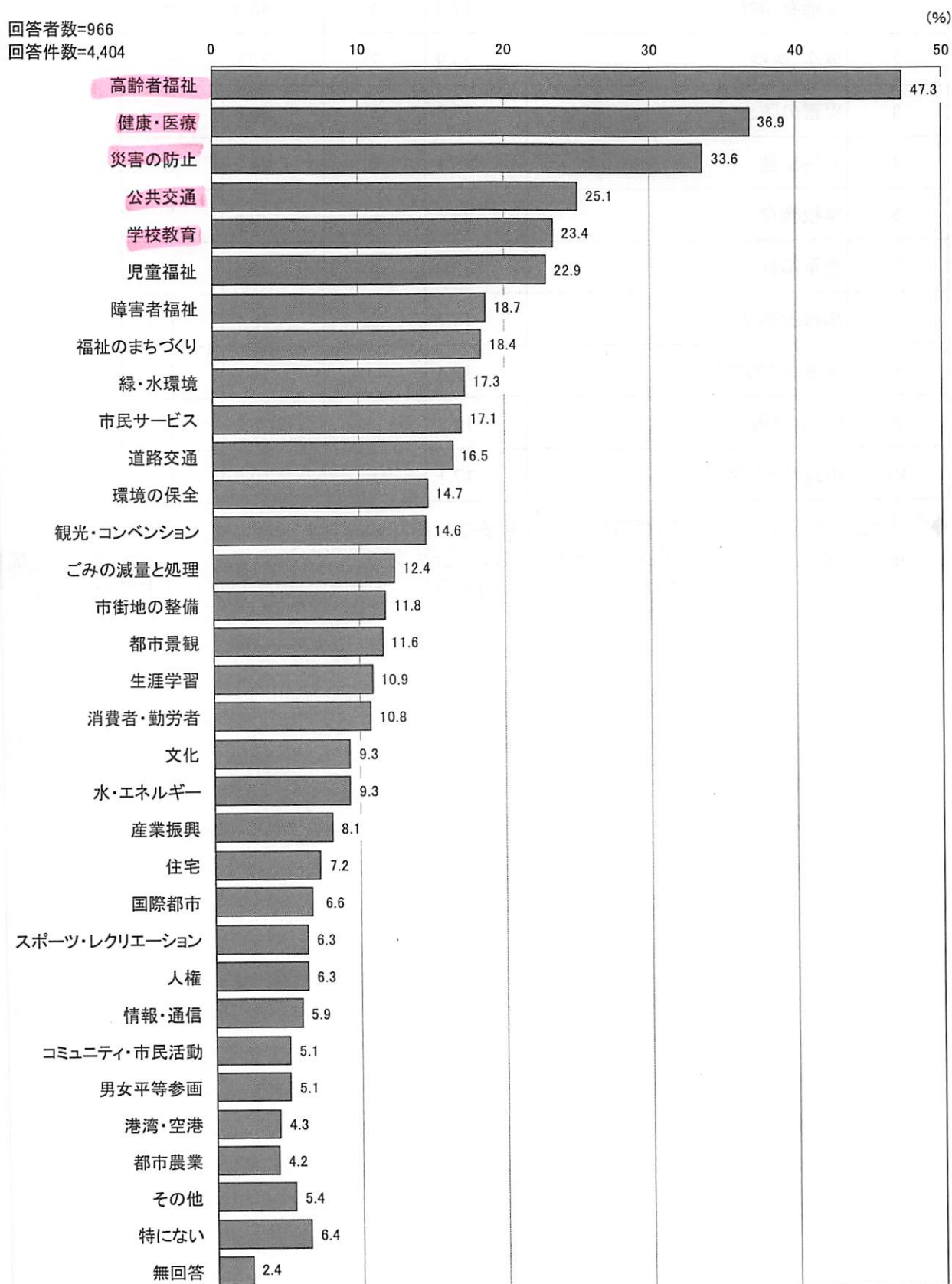
(参考 平成25年4月21日執行 名古屋市長選挙)

年齢階層	18-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-	市全体
男		18.71%	21.92%	27.40%	31.72%	34.74%	38.69%	43.22%	44.50%	49.81%	56.13%	62.32%	62.60%	49.24%	39.14%
女		24.68%	24.49%	31.95%	35.53%	37.35%	39.50%	43.64%	48.23%	50.87%	57.32%	57.61%	52.78%	32.01%	39.54%
計		21.60%	23.11%	29.57%	33.59%	36.00%	39.08%	43.42%	46.35%	50.34%	56.73%	59.75%	57.03%	37.99%	39.35%

(注)この推定投票率は、各区から標準的な投票区1を抽出して集計したものです。

(4) ② 市政への要望(名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと)(問 20・MA)

名古屋市に特に力を入れて進めてほしいと思う事業の分野をたずねたところ、「高齢者福祉」(47.3%)と答えた人が約5割で最も多く、次いで「健康・医療」(36.9%)、「災害の防止」(33.6%)と続いています。



市政への要望（名古屋市に特に力を入れて進めてほしいこと）について、第1位から第5位までの傾向は、次のとおりです。（性別、年代別などのデータ一覧は、98ページ以降にあります。）

### 第1位 高齢者福祉 (47.3%)

#### 【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

#### 【年代別比較】

70歳以上 (64.8%)、60歳代 (57.9%)、50歳代 (52.0%) の順で要望する人の割合が高くなっています。

#### 【居住区別比較】

港区 (55.4%)、熱田区 (54.8%)、中区 (54.1%) の順で要望する人の割合が高くなっています。

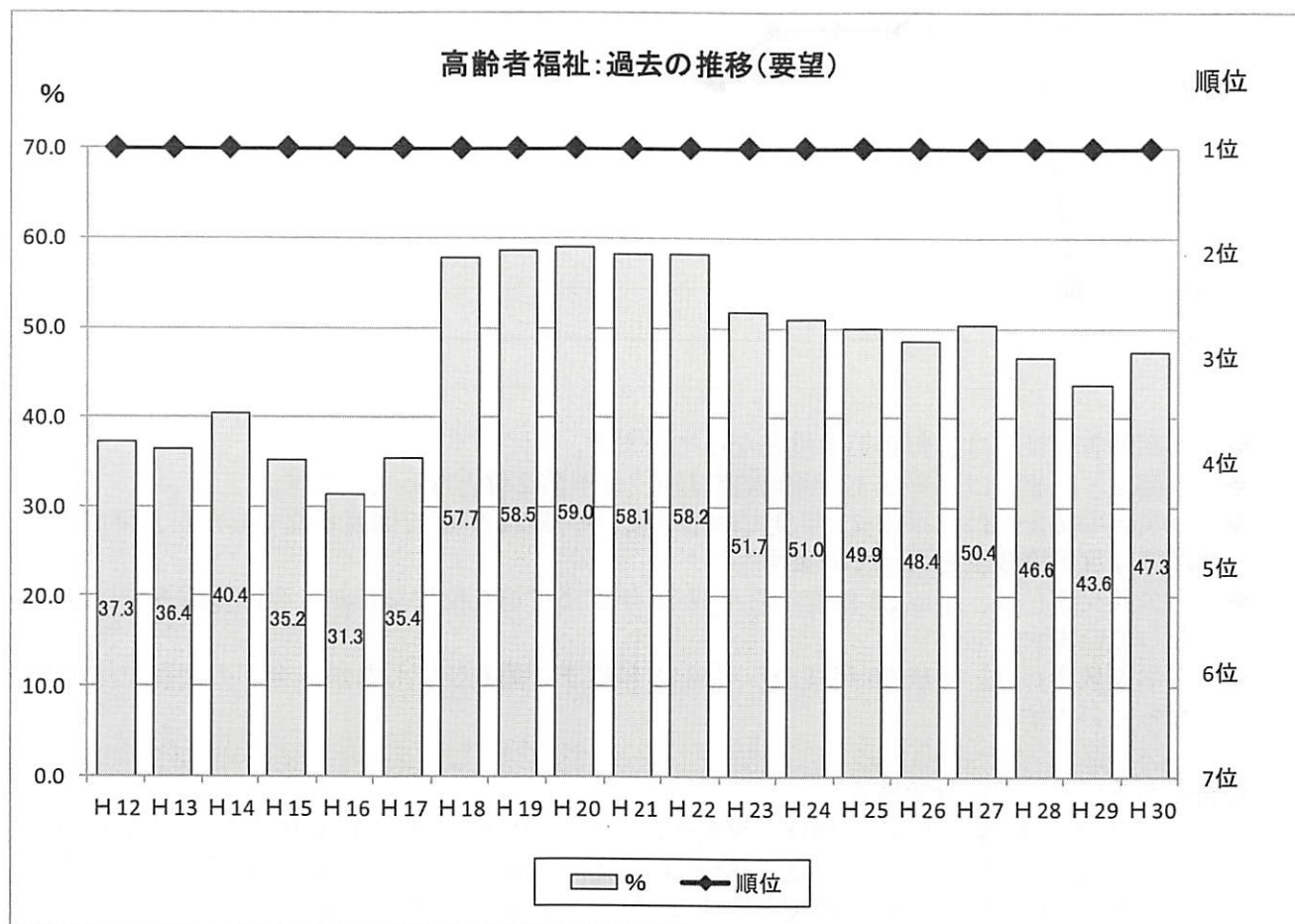
#### 【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

#### 【居住歴別比較】

30年以上 (53.6%) で、要望する人の割合が高くなっています。

#### 【過去の推移（比率、順位）】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています（各調査の詳細については、P.4参照）。

第5位 学校教育 (23.4%)

【性別比較】

大きな差は見られませんでした。

【年代別比較】

30歳代 (38.4%)、10歳代 (35.7%)、40歳代 (32.6%) の順で要望する人の割合が最も高くなっています。

【居住区別比較】

中区 (13.5%) より、名東区 (29.6%) の方が、16.1ポイント高くなっています。

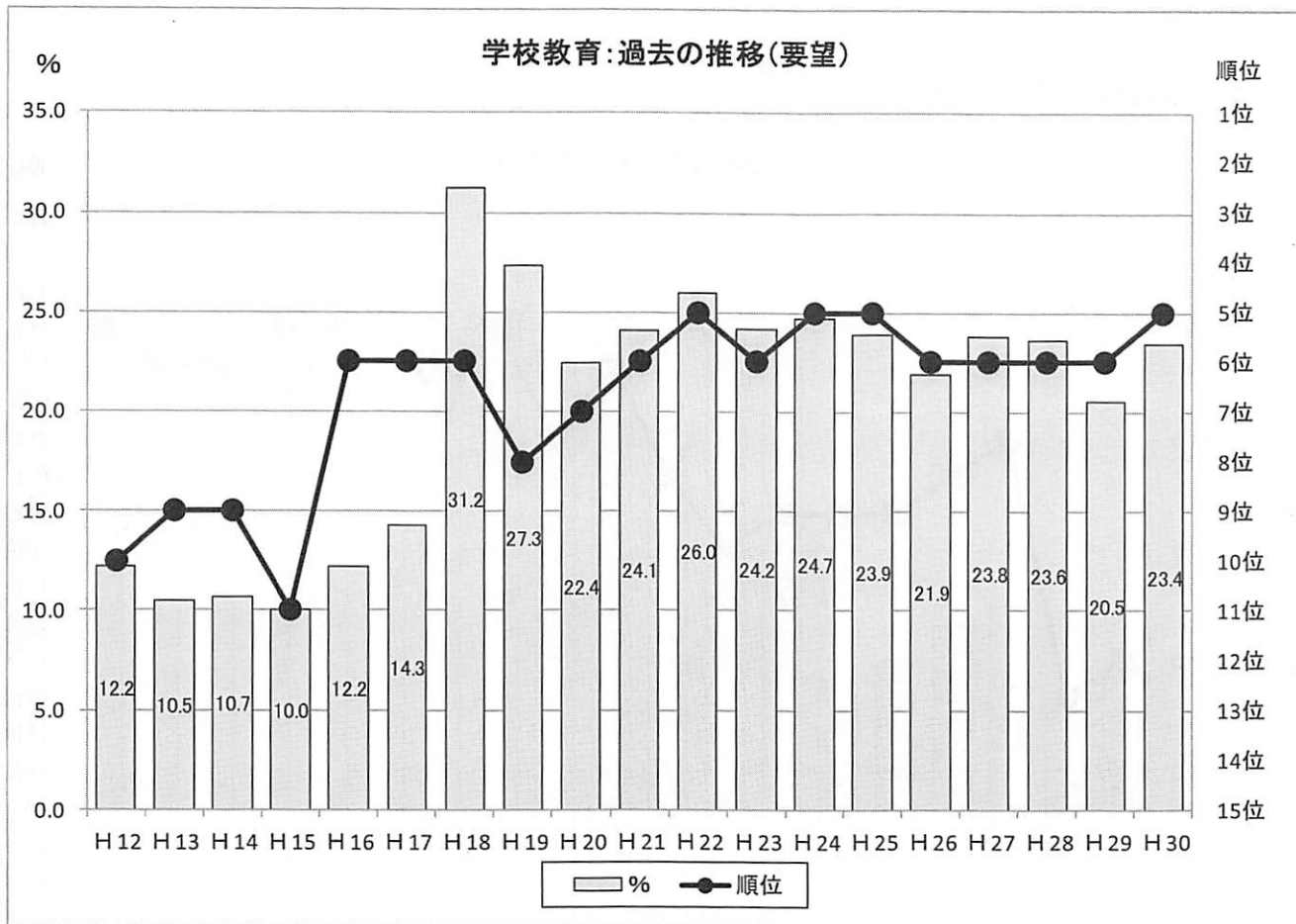
【出生地別比較】

大きな差は見られませんでした。

【居住歴別比較】

大きな差は見られませんでした。

【過去の推移 (比率、順位)】



注：質問に対して選択できる数は、平成17年度まで3つとしていましたが、平成18年度よりあてはまるものすべてを選択できるようになりました。

注：過去の推移はそれぞれ調査方法や標本数が異なるため、単純に増減の比較はできませんが、参考として比較しています (各調査の詳細については、P.4 参照)。



○ 若年層に向けた主な選挙啓発事業について

事業	予算額
1.8歳選挙権リーフレットの送付 <i>郵送で済ませたい 中野はほぼ同じ</i>	1,084 千円
選挙出前トーク <i>H26 20枚 → H28 33枚 同校 → 同校 5枚 → 高</i>	110
② 何人いるのだろうか? 青年選挙ボランティアの企画事業 <i>25枚 → 23枚 ざいばいばい</i>	② ①の定価で入れている 2,004
「いちごのあした」の発行 <i>H26年 15枚</i>	610
明るい選挙啓発ポスター・書道作品展	838

何を目的に懸念を感じておられるのか。 → どのような企画があるのか。

仕組や制度の説明割合が多。

選挙に行くとどうなるのか

その中が良かったのか

ストーリーが面白くないところがある

しる。

ダイレクトメールなどは何もない。

民間のこの教材を保存して欲しい  
その後

平成29年度 若年層に向けた主な選挙啓発事業比較 (旧五大市)

市名	事業名
横浜市	せんきょフォーラム [出前講座]
	若年層啓発 [新成人向け小冊子作成]
	選挙啓発教材 [中学3年生向け]
京都市	明るい選挙出前授業
	18歳選挙権リーフレット配布
	成人式における啓発
	論文コンクール, ポスター募集
大阪市	選挙出前講義
	新有権者へのお知らせ文書発送
	ポスターコンクールの実施
神戸市	新たな有権者への啓発 (DM発送)
	啓発用副読本作成 [中学3年生向け]
名古屋市	18歳選挙権リーフレットの送付
	選挙出前トーク
	青年選挙ボランティアの企画事業
	「いちごのあした」の発行 [中学3年生向け]
	明るい選挙啓発ポスター・書道作品展

3314

この冊子

これと併せて配布する。

新しい  
七ツ  
□  
の  
要。